

大正八年の大沢崩れ！

大正八年八月十六日
富士中道大澤大行成就記念写真
(大沢休泊所所有者中村氏提供、
大沢峡谷部三の滝付近)



富士中道大澤大行成就記念

大正八年八月十六日
半込 木村佐郎
芭 國分暢天

大正八年東
神田 眞嶋保三郎
京橋 伊藤彦三

富士砂防だより

発行
建設省
富士砂防工事事務所
富士宮市三園平 1100
電話 (0544)27-5221



▲三柱神社 昭和十年頃の絵はがきより

▼現在の社殿



富士山の中腹、五合目付近をぐるりと一周する「御中道」は、大沢崩れの越し場が道中最大の難所でした。石滝と呼ばれ絶えず崩壊し落石を繰り返しているため、崩壊に伴い地形が変わり「一の越」から「二の越」「三の越」へと越し場も変わりました。現在は「三の越」も左岸の溪岸が流出し、遭難者が出た後は昭和52年より通行禁止の措置がとられています。

この大沢の右岸間に建つのが大沢休泊所、通称「お助け小屋」で、社殿が横に並びます。昭和52年より大沢休泊所も閉じられてしまいましたが、昭和57年から始まった源頭部調査工事の作業員の避難所として使用しています。今年6月、所有者中村安彦氏に同行していただき、社殿内部を見せていただきました。中にあった大正時代の写真を紹介します。

御中道と大沢お助け小屋

今号から始まります

富士山を知ろう

第1回

昭和10年頃の絵はがきにみる富士山の御中道

富士宮口から小御岳神社へ当時の御中道をたどってみます。



昭和10年頃の中道大澤室（お助け小屋）で売られていた絵はがきです。



①宝永山の赤岩です。宝永山には、第1火口、第2火口、第3火口があります。この赤岩は、標高2,702mです。富士宮口方面の登山道から登り始めました。



②十二ヶ薬師は、この宝永山の火口壁に突出している岩が薬師如来を連想させるようです。



③御庭から見た富士山。御庭には、火口列があります。側方火山（寄生火山）で、植物の生育が難しい火山高原です。



⑦大沢右岸側の標高2,640mにあるだるま岩です。「お助け小屋」から300m位登ると、目の前にそびえ立っています。手前に立っている登山者が小さく見えます。



⑨小御岳神社。ここは、スバルライン五合目駐車場のところにあり、登山者の安全祈願をします小御岳は、現在の富士山の核となった火山です。



⑥富士山の南西側にある天の浮橋です。谷と違って岩場を横切らなければならない危険な場所です。



⑧大沢の渡し場です。大沢の左岸側から見たもので、行者姿の登山者の歩いているところは、毎年土石流が流れる谷底部です。



③大沢左岸側にある不動岩です。「雲切不動岩」とも呼ばれ、右岸のだるま岩より高標高にあります。

④大沢石灘の全景。大沢の渡し場の谷底部から頂上方面を見たものです。左上の隅部に、だるま岩が見えます。谷底は崩落した溶岩が堆積しています。



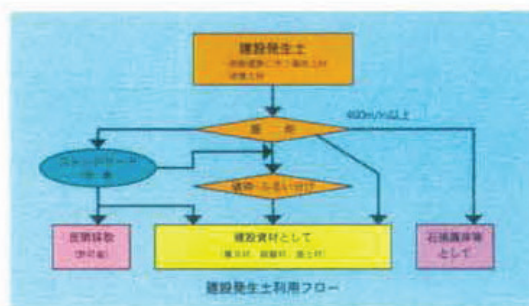
建設発生土の有効利用

大沢扇状地では、大量に発生する建設発生土の円滑かつ有意義な利用を図るため、静岡県砂防課長（現・砂防統括監）を長とする国、県、富士宮市の関係者による「大沢川扇状地堆積土砂処理等協議会」を昭和53年より設置し、砂防及び河川工事等の資材、道路や宅地等の盛土材や、土地改良事業の基盤材、地方公共団体施設等の盛土等への利用による地域への活性化等、効果的な事業執行を図っています。

大沢扇状地の建設発生土については、道路路体材や埋戻材として良質であることが確認されているものの、これまで利用があまり進みませんでした。その理由として、最大粒径が大きいくにより転圧作業が困難であることがありましたが、最近では汎用性の高い自走式の破碎機やふるい分け機が開発されていることから土砂利用の促進を図るため、これらの機械を利用した粒度調整を行うようになりました。



掘削、破碎、ふるい分け状況



建設発生土有効利用の効果

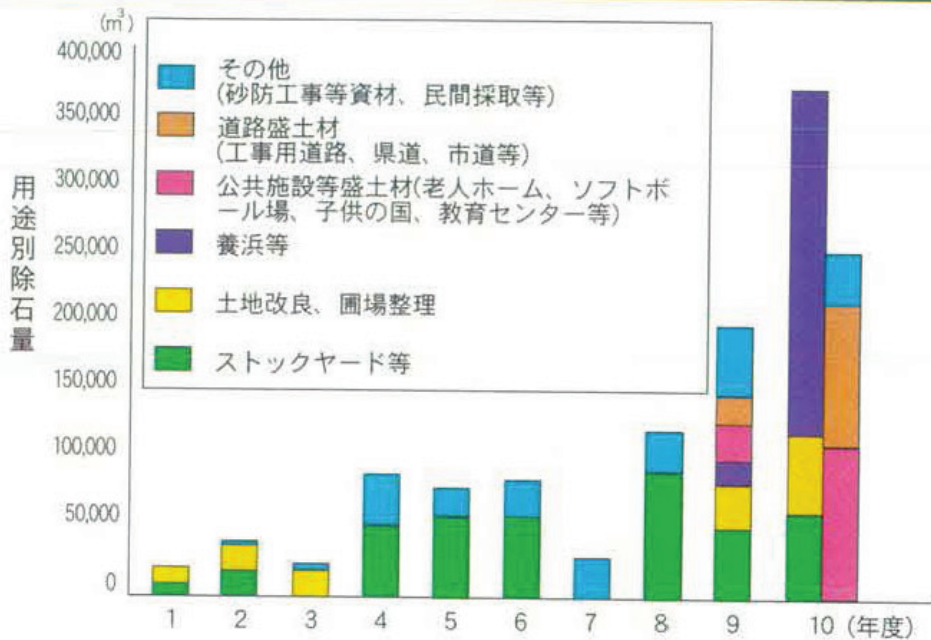
省資源と環境

大沢扇状地の建設発生土は、これまで購入材に頼っていた資源を供給することにより、これまで供給元であった土取場を開削する必要がなく、省資源化と環境負荷の削減に寄与しています。今後も「資源循環型社会」の構築を目指します。

地域整備への寄与

広域的な視点から道路や公共施設の敷地整備、養浜材等の建設発生土の利用により、砂防施設の貯砂機能を回復させ、下流域の安全をはかるとともに、豊かな地域の発展に寄与することができます。

最近では、世界女子ソフトボール選手権大会の会場となった県営ソフトボール場の基盤材、高齢者保健福祉計画に基づく芝川町特別養護老人ホームの基盤材、富士川SAの整備事業、朝霞地区道の駅整備事業、静岡県企業局による宅地造成事業や工業団地の基盤材、富士山こどもの国整備事業、富士市大沢公園整備事業、(社)建設機械化研究所による試験盛土、(財)富士教育訓練センターの建設機械研修用土砂等広域的な視点から積極的な土砂利用を促進しており、住みよい町、豊かな暮らしをつくるとともに、産業活動や経済活動の関連作用の誘発についても期待することができるとです。



建設発生土現況利用状況図 (平成元年以降)

大沢扇状地の堆積土砂の利用状況を図に示します。従前は最寄りの土地改良、圃場整備への利用が主でしたが、近年では建設発生土の当面の運用について50kmの範囲内で利用を進めることになっていくことから、利用範囲の広域化と、破碎、ふるい分けによる粒度調整による利用の促進が図られています。



巨石利用状況 (猪の窪護岸)



海岸 (養浜材) としての利用

河川部門で「全建賞」

3年
連続

平成8年度の「富士ハートシステム」、平成9年度の「第2回富士山への手紙・絵コンクール」に続き、建設省富士砂防工事事務所と沼津工事事務所による「砂防事業と海岸事業の連携」がコスト縮減、建設リサイクル推進など効率的な事業として評価され「全建賞」(河川部門)を受賞した。

全建賞とは、全日本建設技術協会の主催で、建設技術関係者の技術水準の向上などを目的に設立された賞で、平成10年度、全国の事業主体八十七機関から二百三十三事業の応募があり、これから九部門五十五事業が選定された。

「砂防事業と海岸事業の連携」は、富士山大沢扇状地の遊砂地などの砂防設備に捕捉堆積された土砂を除石し、破碎、ふるい分け等土質調整を行い、富士海岸の侵食対策事業として大規模な養浜工に活用したものである。両事業が連携することによりトータルコスト(新材の購入費、運搬費等)を約10%縮減することが可能になった。また建設発生土を海岸の養浜に有効活用するという観点から、建設リサイクル推進にも寄与する事業であり、建設事業の効率的な執行という観点で高く評価されたものである。

第51回国土建設週間における表彰者

局長表彰

《優良工事施工者》

○工事 名/平成九年度富士山須津第1砂防ダム工事

施工業者名/株式会社中村組

《優良技術者》

○工事 名/平成九年度弓沢沈砂地土工工事

施工業者名/株式会社早野組中部支店

技術者名/現場代理人 筒井 聡一

事務所長表彰

《優良工事施工者》

○工事 名/平成十年度富士山源頭部調査工事

施工業者名/大旺建設株式会社名古屋支店

《安全工事施工者》

○工事 名/平成十年度富士山源頭部調査工事

施工業者名/大旺建設株式会社名古屋支店

○工事 名/平成九年度富士山須津第1砂防ダム工事

施工業者名/株式会社中村組

○工事 名/平成九年度弓沢沈砂地土工工事

施工業者名/株式会社早野組中部支店

《優良業務請負者》

○業務 名/平成十年度富士山大沢川源頭部施設計画検討業務

施工業者名/住鉦コンサルタント株式会社名古屋支店

《イメージアップ施工者》

○工事 名/平成十年度富士山大沢第7床固工除石工事

施工業者名/小松建設工業株式会社中部支店



富士山源頭部調査工事



富士山須津第1砂防ダム工事



富士山大沢第7床固工除石工事



弓沢沈砂地土工工事

月間の啓蒙運動を実施 6/1～6/30

●一瞬にして、人命や大切な財産を奪い取ってしまう土砂災害（土石流・地すべり・がけ崩れ）は今年も全国で発生しています。

●富士宮市在住の国際フリーライター
山村レイコさんの
一日事務所長
6/16



特別養護老人ホーム「しらいと」の訪問
「土石流対策の説明をしました」



調査課職員より説明を受け、決裁

山村 レイコさんの コメント

富士山について、日本の富士山、世界の富士山でなく宇宙の富士山ぐらいに思っていますが、富士山の厳しさ、火山の厳しさというのは私たちの気持ちが出てくるものだと思います。それを受け止めていくことは、すばらしい仕事だと思います。

これがもっと楽しいものになればいいと思います。



SABOコミュニティホール「あまつばめ」のオープン



フーチャン公園花植え 6/15



花植えのようす

上井出保育園園児70名の皆さんと一緒に潤井川流路土左岸へ花の苗を植えました。



「あまつばめ」に訪れた方々



'99 「みんなで防ごう土砂災害」土砂災害防止

“日頃の備えと早めの避難を” 合い言葉に土砂災害に対しての行事を行いました。

街頭キャンペーン

6/9



富士宮駅前

パネル展

6/4~6/11



新富士駅/ステーションプラザ Fuji



西富士料金所出口

フジアザミ移植

7/21



岩樋末端部にて、密集して生息していたフジアザミを50cm間隔を目安に移植を行いました。……ボランティア



砂防フェスティバル '99しあが

6/20



静岡市/青葉公園シンボルロード

お知らせコーナー

富士山直轄砂防30周年記念事業
記念事業について

富士宮市役所において、第1回実行委員会(委員長・渡辺 紀富士宮市長)が行われ、記念行事の計画が決まりました。

①記念式典・シンポジウム／

平成11年11月17日(水) 富士宮市民文化会館

②大沢崩れと御中道見学会(4回)

第1回、7月22日実施



③大沢扇状地クイズウォーク／平成11年8月23日(月)

④工事竣工式

⑤富士山ぐるっと360度／平成11年9月11～12日

「今井通子さんと学ぶ富士山の自然と植生」

●募集要項

参加資格／・富士山頂に3回以上の登頂経験のある方・健脚の方(1日8時間程度の山行に耐えられる人)・高校生以上(定員100名)

集合場所／AM7:30新富士駅 AM7:30富士宮駅

宿泊場所／山梨県側五合目・奥庭

参加費／10,000円(宿泊費、食費、保険料)

行程／距離約25km(2日間)

申込み方法／往復ハガキまたはFAXに住所・電話番号・氏名・年齢・富士山の登頂回数等を記入して9月6日(月)までに富士砂防工事事務所富士山一周係へ申し込んで下さい。なお、電子メールでも受付可。

第4回 富士山への手紙・絵コンクール

応募要項 あなたの心を富士山へ

■手紙部門

応募資格：小学生以上の方ならどなたでも応募できます。

作品規格：一人1点(未発表のもの)ハガキ400字以内

■絵部門

応募資格：どなたでも応募できます。

作品規格：一人1点、未発表のオリジナル作品に限ります。画材や表現方法に制限はありませんが、クレヨンなど他の作品を汚すおそれのある画材はご配慮下さい。用紙は四つ切を使用して下さい。

審査賞：特にすぐれた作品を入賞作品として表彰します。

審査委員長 村松友視(作家)

応募期間：平成11年7月1日(木)～9月16日(木)
(当日消印有効)

応募先：〒418-8601 静岡県富士宮市弓沢町150番地

富士宮市教育委員会 学校教育課

富士山への手紙・絵コンクール事務局

主催：富士宮市・富士宮市教育委員会

(社)富士宮青年会議所・建設省富士砂防工事事務所



富士山への手紙・絵コンクール 後藤健仁さん

情報提供のお願い

●富士砂防が関係する、古い写真(富士登山や御中道など)、資料等お持ちの方、また災害体験を有している方の情報提供をお願い致します。

(連絡先) 富士砂防工事事務所

(建設監督官・永井、又は調査課長・田中まで)

TEL.0544-27-5221 (内線542、又は351)

(お問い合わせ先)

■建設省富士砂防工事事務所

〒418-0004 静岡県富士宮市三園平1100

TEL.0544-27-5221

■富士宮砂防出張所

〒418-0103 静岡県富士宮市上井出826-1

TEL.0544-54-0236

インターネット＝<http://www.cb.moc.go.jp/fujisabo/>

広報誌読者の声

◇富士山の大沢崩れを守り、美しい富士山を守って下さい。富士山に関する、砂防工事大沢扇状地除石工事をもっと着手して下さいように頼みます。

◇自然との闘い、大変な事お察し致します。御苦労の様子「新富士」のパネル展にて拝見致しました。機会があれば是非現地の作業見学致したく存じます。自然にやさしいと云うか、自然を痛めることを極力抑える為の機材や工法の開発を進めながらの治山、益々頑張って下さい。

◆山に砂防ダム、海にテトラポット、この相反する様な現在の在り方、矛盾を感じませんか。

漁業権を始めとする問題点は多いと思います。ダムの有効貯水量の点からも、沈砂に依る養浜は手来ませんか。